

博物館周辺 歴史探訪まち歩きマップ

土浦市立博物館作成／2021年

1 亀城公園（土浦城址）

きじょうこうえん（つちうらじょうし）



土浦城址を整備して作られた公園。櫓門（県指定文化財）・旧前川口門（市指定文化財）・東櫓・西櫓など土浦城の名残を見ることができる。続日本100名城。



2 土浦市立博物館

つちうらしりつはくぶつかん



土浦城二ノ丸跡に建てられた博物館。「霞ヶ浦に育まれた人々のくらし」を総合テーマとして、「大名土屋家の文化」など土浦の歴史と文化について紹介している。



3 神龍寺

じんりゅうじ

天文元（1532）年菅谷貞の開基と伝えられる曹洞宗の寺院。色川三中の墓や従五位追贈の記念碑がある。



4 郁文館の正門

いくぶんかんのせいもん

土浦藩士の教育の場として藩主土屋英直によって作られた藩校。城内にあつたものが、天保10（1839）年に現在地に移された。



5 華蔵院

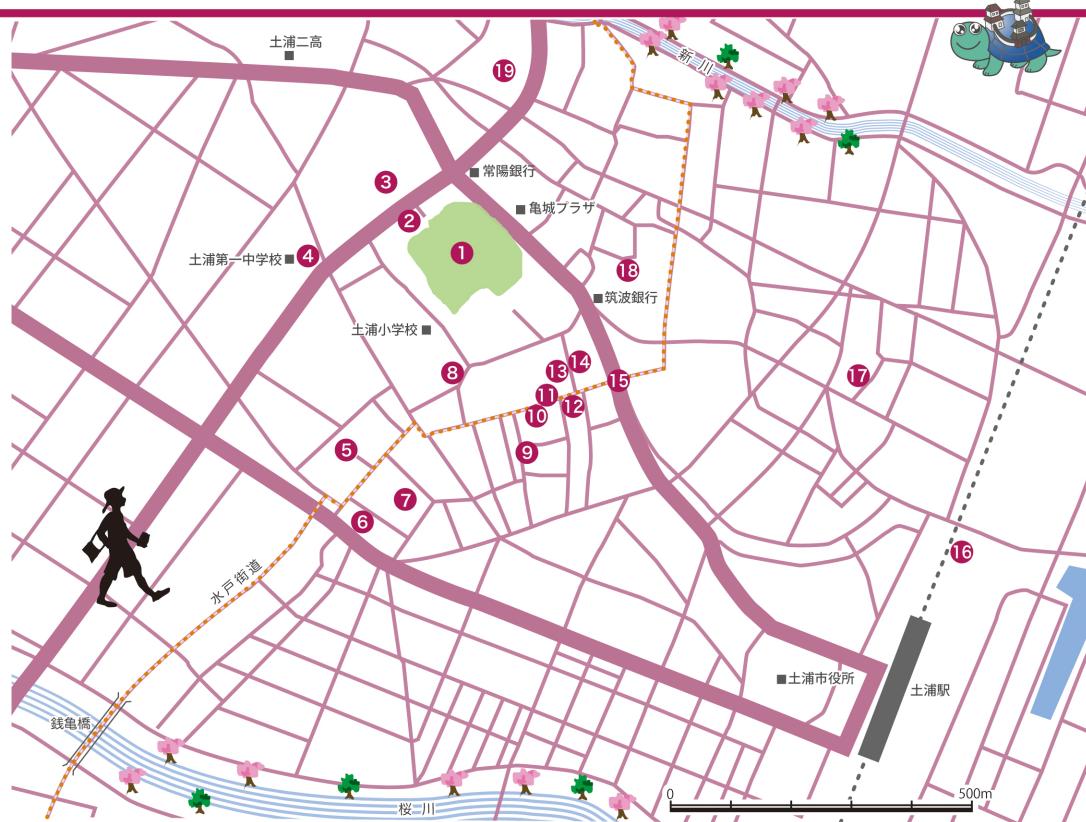
けぞういん

江戸時代後期の町人学者・沼尻墨僧行基の墓がある。墨僧行基は塾で子弟の教育にあつたほか、書画・文芸にたけ、天文学・地理学にも精通し、地球儀も制作した。

6 東光寺

とうこうじ

慶長12（1607）年開山。元文4（1739）年に建てられた瑠璃光殿は、市指定文化財。土浦藩医辻元順の墓があり、境内には土浦城の土塁の一部が残る。



7 等覺寺

とうがくじ

浄土真宗の寺。小田氏の祖八田知家が鎌倉時代に作らせた鐘（国指定重要文化財）が伝わる。般若寺（市内寺塚）の銅鐘とともに、常陸三古鐘の一つ。

8 大手門の跡

おおてもんのあと

水戸街道に通じる土浦城の正門。外側が单層、城に近い内側に二層の櫓門があった。市指定文化財。

9 中城天満宮

なかじょうてんまんぐう

祭神は菅原道真。江戸時代、3月には駒市（馬市）がたち、たくさんの人馬が集まつたと伝えられている。

10 矢口家住宅

やぐちけいゅうたく

水戸街道に面した土蔵造で、店蔵・袖蔵・元蔵からなる。天保14（1843）年におこった大火後の代表的な建物。県指定文化財。

11 土浦まちかど蔵「野村」

つちうらまちかどくら「のむら」



明治時代、砂糖などを扱つた野村家の町屋造りの建物。屋敷の奥には明治時代中頃に建てられたレンガ蔵も残る。国登録有形文化財。



12 土浦まちかど蔵「大徳」

つちうらまちかどくら「だいとく」



江戸時代から呉服商を営んだ大國屋徳兵衛家の土蔵造の店。一部改装され、観光案内所となっている。国登録有形文化財。



13 退筆塚の碑

たいひづかのひ

江戸時代、町人学者・沼尻墨僧行基が開いた塾「天章堂」が琴平神社境内にあつた。退筆塚の碑は、文久2（1862）年、墨僧行基の七回忌に門弟により建てられた。市指定文化財。



14 不動院

ふどういん

15世紀前半に土浦城主若泉氏により創建されたと伝えられる。境内には力石（市指定文化財）がある。隣には琴平神社がある。

15 桜橋の跡

さくらばしのあと

桜橋は川口川に架けられた水戸街道の橋。昭和初期、川の暗渠化にともない、橋も埋められたが、欄干の一部や道路元標などが残る。市指定文化財。



16 川口川閘門跡

かわぐちがわこうもんあと

水害から町を守るために、川口川河口部に明治39（1906）年に建設された閘門。現在は、鉄扉とポンプが残る。市指定文化財。



17 驚神社

わしじんじゃ

東崎町の氏神で、天日驚命（あめのひわしのみこと）を祀る。境内には永禄7（1564）年の年号の入った石碑や、江戸時代の力石がある（ともに市指定文化財）。

18 瀧泉寺

りゅうせんじ

応永13（1406）年、興善上人の開山と伝えられる。はじめ勝軍木郭（ぬるぐるわ）にあつたが、江戸時代初期、土浦城主により現在地に移された。木造大日如来をはじめ市指定文化財が多く伝わる。

19 浄真寺

じょうしんじ

慶長6（1601）年、土浦城主松平信一が菩提寺として建立した。北門に近く、土浦城の防衛に一翼を担うとされる。蘭学者高野長英の墓がある。